



平成 28 年 2 月 10 日

各 位

会社名 株式会社 T B グループ
代表者名 代表取締役会長兼社長 村田 三郎
コード番号 6775 東証第 2 部
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 信岡 孝一
(TEL. 03 -5684 -2321)

特別利益の計上及び平成 28 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別利益を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 11 月 11 日に公表いたしました通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

負ののれん発生益 41,452 千円

総合メディアサプライ株式会社の全株式を平成 27 年 10 月に取得し連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益を計上いたしました。

2. 通期連結業績予想の修正

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,500	30	25	1	0.01
今回修正予想 (B)	4,700	△190	△220	△185	△2.13
増減額 (B-A)	200	△220	△245	△186	—
増減率 (%)	5.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	3,682	△279	△272	16	0.23

業績予想修正の理由

連結売上高は、LED&ECO 事業での LED ライトの販売増加及び、SA 機器事業での法人向け携帯 (スマートフォン等) の販売増加により、前回発表予想を上回る 47 億円となる見通しです。

営業利益、経常利益につきましては、LED&ECO 事業での、販売増加となった LED ライトは海外メーカーとの競合により利益率は低減いたしました。また、カラー LED ビジョン等の付加価値の高い商品の開発投資が増加し、現在開発途上であることから収益面ではマイナスとなりました。当第 3 四半期連結会計期間 (10-12 月) の営業損失は 18 百万円 (前年同期は 39 百万円の営業損失、20 百万円の改善) と営業利益改善傾向にはあるものの、利益率の改善が予想を下回り前回発表予想を大幅に下回る見通しですが、「インバウンド」事業及び「軽減税率」への商品・システム開発に「共創」による先行投資を行い、来期の商機及び利益を確実にする戦略を図ってまいります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減少があるものの、前項 1. 特別利益の計上により、1 億 85 百万円の親会社株主に帰属する当期純損失となる見通しです。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上